

熊本市新型コロナウイルスワクチン接種事業について

R3年3月10日時点
感染症対策課

厚生委員会
報告事項説明資料 5

1. 目的

新型コロナウイルスワクチンの接種を行うことで、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図ることを目的とする。

2. 接種費用

自己負担なし

3. 接種の考え方

本市の特徴である豊富な医療資源を最大限活用し、市民にとって「身近で安心」な医療機関での個別接種を中心とした接種体制とする。

あわせて、かかりつけ医を持たない方や、国からのワクチン供給量や時期に柔軟に対応するため、集団接種による接種も実施する。

4. 接種スケジュール等 ※想定

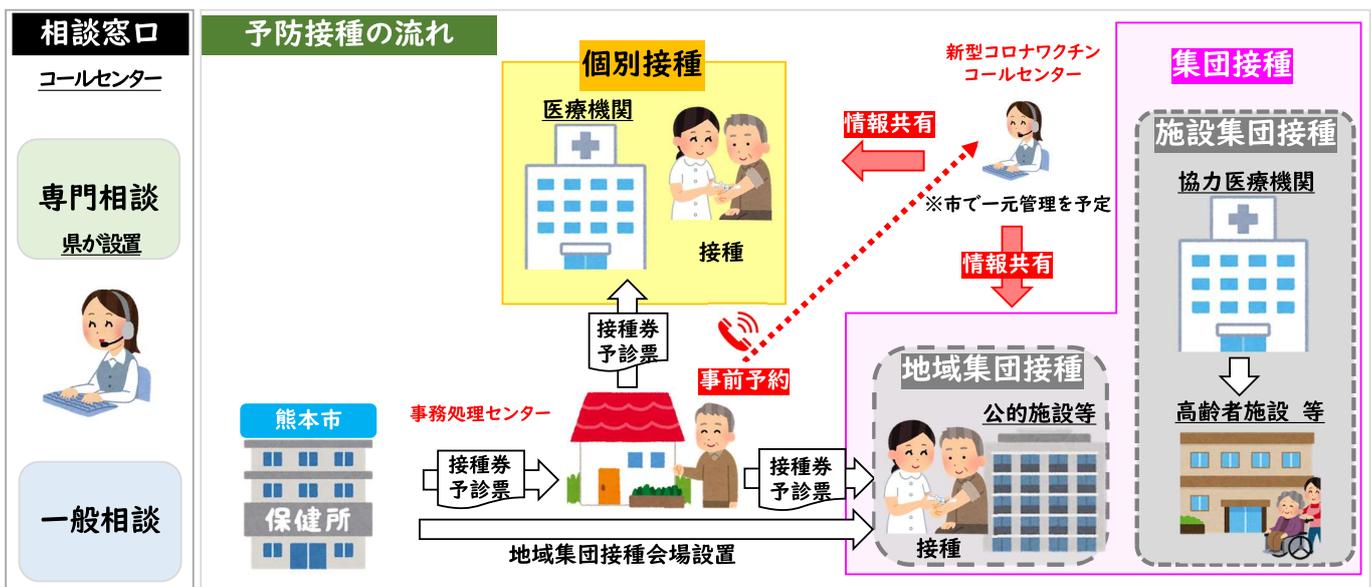
時期	順位	対象者区分	対象者数	備考
2/19~		医療従事者等	22,000人	対象者数:国の算出指標「総人口の3%」
4/12~	先行・優先	高齢者	155,000人	19万4千人(令和3年1月1日現在の住民基本台帳人口から算出)の8割
		高齢者(施設入所・入院等)	39,000人	19万4千人(令和3年1月1日現在の住民基本台帳人口から算出)の2割 施設集団接種により実施予定
		基礎疾患を有する者	36,000人	国の算出指標「総人口の4.9%」
	その他	高齢施設等の従事者	11,000人	国の算出指標「総人口の1.5%」、施設集団接種と同スキーム
		60歳以上65歳未満	45,000人	令和3年1月1日現在の住民基本台帳人口から算出
		その他一般(16歳以上)	317,000人	令和3年1月1日現在の住民基本台帳人口から算出
		その他一般(16歳未満)	108,000人	ファイザー社ワクチンにおいては対象外
		合計	733,000人	令和3年1月1日現在の住民基本台帳人口から算出

P 1

熊本市新型コロナウイルスワクチン接種事業について

R3年3月10日時点
感染症対策課

5. 予防接種の流れ



6. これまでの取組

<人的体制整備> 12名体制

- 11月16日付けて感染症対策課に「新型コロナウイルス予防接種準備班」を設置し4名の職員を配置。
- 1月21日付けて新たに4名の職員を加配し、「ワクチン対策プロジェクトチーム」を設置。
- さらに、2月15日付けて4名を加配し、体制を強化。

<接種実施体制の検討・調整>

- 市医師会の担当理事、県看護協会など医療関係団体等と協議を重ね、ワクチン接種の実施体制案を作成。
- 市医師会理事会と協議。(第1回:12月23日、第2回:1月13日)
- 医療機関への訪問及び説明会(第1回:1月30日、第2回:2月20日)を実施し、ワクチン接種の協力を依頼。
- 個別接種に協力いただける医療機関を把握するための意向調査実施。
- 熊本市の接種体制の公表。(市長と熊本市医師会長の共同会見)
個別接種実施医療機関:約350箇所、地域集団接種会場:市内6箇所(2月28日現在)
- 熊本市新型コロナワクチンコールセンターの開設。(3月1日開設)

7. 今後の予定

- 集団接種シミュレーション実施(3月19日:総合体育館・青年会館)
- 接種券の発送(高齢者:4月下旬、高齢者以外:5月以降を予定)※ただしワクチン供給量・時期による。
- 予約受付開始(高齢者:5月、高齢者以外:ワクチンの供給量によるため現時点で未定)
- 高齢者接種用ワクチン3箱配分予定(4月5日の週2箱、4月26日の週1箱)
- ワクチン接種開始(4月12日~:施設入所高齢者等から順次接種)